

## 令和2年7月下旬の一関遊水地における水稻冠水被害

### 【成果の概要】

令和2年7月下旬の大雨により、一関遊水地において発生した水稻の冠水被害について実態調査しました。

- (1) **冠水の状況**：7月26日夕方から梅雨前線による大雨が降り、一関遊水地の多くは28日正午頃から浸水し、まもなく冠水しました。水が引き始めたのは29日の正午からで、大部分のほ場では冠水時間が24時間程度となりました。

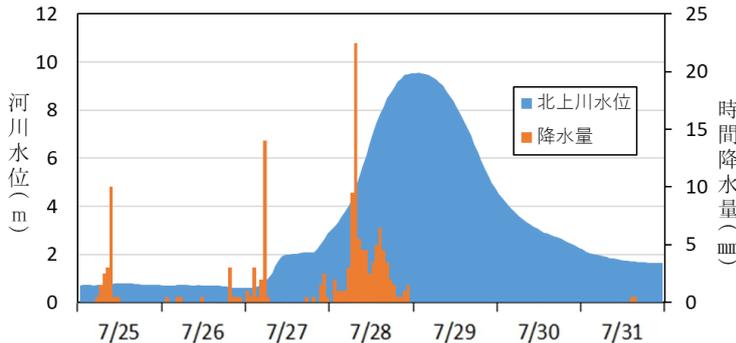


図1 降水量と北上川水位（一関）

注1) 北上川水位は一関市狐禅寺地点の観測  
注2) 降水量はアメダス一関より

期間：7/26 18:00 - 7/28 18:00

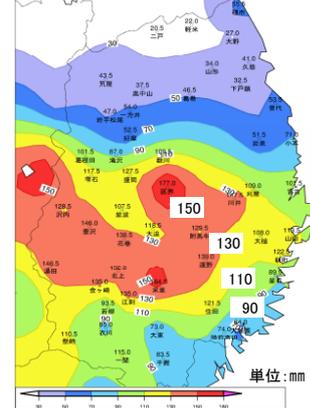


図2 県内の総降水量分布

注) 盛岡气象台 天候のまとめより

- (2) **冠水による収量・品質への影響**：冠水したほ場では、出穂後に籾の褐変や白ふ、一部で穂いもちの発生が見られました。また、冠水による被害穂（籾欠損穂、出穂異常穂等）が確認され、特に白ふ等による籾欠損穂が多発しました。収量は籾数の減少と、不稔発生による登熟歩合の低下のため減収し、冠水時期が減数分裂期のほ場では減収程度が大きくなりました。

表1 冠水ほ場の生育ステージ、収量

ほ場	品種	冠水時間	冠水時の	出穂期	精玄米重 (kg/10a)	登熟歩合 (%)	穂いもち 程度	検査 等級
		(hr)	生育ステージ					
冠水有	A ひとめぼれ	30	出穂期	7/27	435	79.9	無	1等
	B ひとめぼれ	24	出穂直前	8/2	446	85.6	無	1等
	C ひとめぼれ	24	減数分裂期	8/6	245	60.2	無	1等
	D 金色の風	24	減数分裂期	8/5	277	63.6	多	1等
冠水無	ひとめぼれ	0	出穂直前	8/3	553	93.6	無	1等

注1) 精玄米重は1.9mm調製後 注2) 穂いもち発生程度の評価：多 発病穂率10~20%、中 同5~10%、少 同5%未満 達観調査より

表2 被害穂の状態

ほ場	正常穂	籾欠損穂	出穂異常穂 他
	(%)	(%)	(%)
冠水有	A 36	62	1
	B 23	77	1
	C 17	58	25
	D 16	75	9
冠水無	(100)	-	-

注1) 正常穂とは、冠水による形状被害が見られない穂。  
注2) 籾欠損穂とは、白ふ等で籾が消失している穂。  
注3) 出穂異常穂とは、抱き穂、出すくみ等の出穂に異常が見られる穂で、他には不稔穂等を含む。

冠水1ヶ月後



成熟期



成熟期

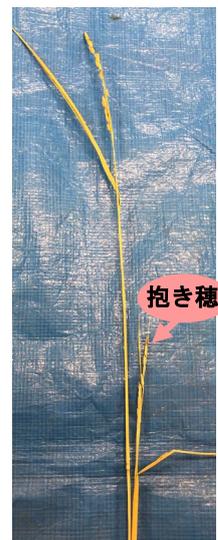


写真 籾の褐変と白ふ(左)、籾欠損穂(中)、出穂異常穂(右)